

V. 歴史博物館整備検討事業

昭和 58 年 (1983) 4 月に設置した久留米文化財収蔵館を中心に、博物館資料の調査・収集・保存・活用を進めている。

資料の収集は、寄贈 20 件 (188 点)、寄託 1 件、購入 2 件、移管 0 件、採集 6 件であった。

資料の活用は、貸出 18 件 (263 点)、印刷物掲載等 69 件 (390 点)、これ以外に研究利用等を目的とした閲覧や写真撮影 23 件 (160 点) にも対応している。また、展示公開については、平成 22 年 10 月に開館した久留米市立六ツ門図書館展示コーナーを会場に、文化財保護課主催 3 回、都市建設部防災対策課 1 回、協働推進部人権啓発センター 3 回、計 7 回の企画展を開催した (VI-1-(1) 42 頁参照)。

1. 資料の収集・保存

(1) 収集

① 寄贈

資料名	時代	寄贈者	数量(点)
農耕図	明治時代カ	岸副尚	1
高山彦九郎書	江戸時代	(公財)高山彦九郎 先生史蹟顕彰会	2
羽織(松木家家紋入り)	江戸末期～明治	大賀トシ子	1
昭和五年内閣国勢調査バッジ、特別 愛国婦人会会員章	昭和戦前期	青木照夫	2
九州医学専門学校開校記念文鎮	昭和 7 年	青木照夫	1
昭和 10 年久留米大水写真他	昭和戦前～戦後期	野田宣隆	13
「日露戦役 旅順の戦蹟」印刷物(封 筒入り)	明治 37・38 年頃	野口勝司	1
「日露戦役 満州軍総司令官一行出 征記念」写真、軍事郵便	明治～昭和 18 年頃	匿名	10
軍事郵便、日米移民使用算盤他	大正～昭和 28 年	匿名	10
竹村家資料(第3次)	昭和 17～平成	竹村逸彦	13
紙芝居「二つの弾片」	平成 24 年	橋本日出代	1
古川家資料(第3次)	大正～昭和	古川恒行	14
竹村家資料(第4次)	昭和戦前期	竹村逸彦	4

戦時中絵葉書一式	昭和戦前期	小柳満	81
昭和 40 年代ホーロー看板	昭和 40 年代	馬場マサミ	3
かや・伸子張りほか	大正～平成	近澤康治	17
文集「戦争を知らない子供たちへ」他	昭和戦前～戦後期	中島淑子	11
氷冷蔵庫	昭和 26 年	田中定	1
消火弾	昭和戦前期	中村一恵	1
一般用米穀類購入通帳	昭和 44 年	児玉玲子	1

②寄託

資料名	時代	寄託者	数量(点)
名字状	江戸時代	菊池武澄	1

③購入

資料名	時代	数量(点)
不破美作書状	江戸時代	9
坂本繁二郎版画「馬三題 2」	昭和 26 年	1

④移管

資料名	時代	原課	数量(点)
(該当物件なし)			

⑤採集

資料名	時代	数量(点)
昭和 52 年「久留米魅力マップ」作成資料	昭和 52 年	6
宮本高等小学校出席簿他	明治 18～大正 4 年	7
久留米耕技術保存会旧所管印刷物他	昭和 35～平成 9 年	19
硬貨枡、薬瓶、昭和 50 年代カラーテレビ	近代～現代	4
月星靴他	昭和戦後期	3
戦前郵便はがき「入営のごあいさつ」	昭和戦前期	1

⑥刊行物

・ 寄贈図書：124 冊

・ 定期購読：24 冊

『月刊文化財』No.619～630（第一法規株式会社）

『博物館研究』Vol.50・No.4～Vol.51・No.3（公益財団法人 日本博物館協会）

(2) 保存

①燻蒸

期間：平成27年8月1日～2日

場所：南町文化財収蔵庫（久留米市南一丁目8番1号）

薬剤等：D-D-T シフェノトリン液化炭酸ガス殺虫剤（商品名：ミラクンGX）を使用し、4時間の密閉噴霧簡易燻蒸を実施。

※収蔵資料の補修については、IV-1-(1) 参照

2. 資料の活用

(1) 貸出

期間	機関名	目的	資料名等	点数
4月1日～ 3月31日	久留米市人権啓発センター	人権啓発センター常設展示室で展示	太鼓	1
5月21日～ 3月31日	九州国立博物館	文化交流展平常展で展示	石人頭部、石人、家形埴輪	3
5月29日～ 9月3日	公益財団法人有馬記念館保存会	企画展「江戸のふしぎな動物たち」で展示	版画他	78
8月20日～ 12月20日	長崎歴史文化博物館	「国際都市・長崎からみたドイツ」で展示	ドイツ捕虜関係資料	15
9月14日～ 11月20日	公益財団法人有馬記念館保存会	企画展「大名有馬家名品展」で展示	徳川家康御内書他	9
7月15日	個人	久留米空襲体験に関するFBS取材のため	久留米空襲爆弾片他	4
7月21日～ 8月15日	三潁総合支所環境建設課	国土調査前後の地図調査のため	旧字図(高三潁)	3
7月22日	江南中学校	平和授業のため	久留米空襲爆弾片他	9
8月5日～ 6日	御井小学校	平和授業のため	久留米空襲爆弾片他	10
10月13日～ 30日	屏水中学校	社会科教材として	ちきり(竿秤)他	4
10月14日～ 15日	金丸小学校	平和学習の講話で使用	雑のう他	8

10月22日～ 27日	福岡教育大学附属中 学校	文化祭生徒会展示のため	「中学修身一」他	10
10月27日～ 12月1日	八女市	坂本繁二郎資料室特別展で展 示	坂本繁二郎関係資料	16
11月20日～ 1月29日	公益財団法人有馬記 念館保存会	企画展「久留米藩の参勤交代」 で展示	参勤交代関係資料	30
1月27日～ 4月15日	公益財団法人有馬記 念館保存会	企画展「おひなさまとミニチュア のお道具」で展示	ひな道具一式	58
12月17日～ 1月28日	協働推進部地域コミ ュニティ課	足形池の所有者を確定するた めの資料として	一筆竿入帳(国分)他	3
2月17日～ 24日	福岡県退職教職員協 会	平和のつどいのイベントで使用	防空頭巾	1
3月4日～ 22日	公益財団法人久留米 文化振興会	石橋文化センター開園60周年 記念事業「悲劇の天才画家 青 木繁」劇中で使用	大八車	1

263

(2) 印刷物掲載等

申請許可日	機関名	掲載誌等	資料名等	点数
4月7日	株式会社日本経済 広告社九州支社	マンション販売におけるパンフレット等 に使用	写真「新久留米市 庁舎」他	9
4月6日	NHK久留米報道室	報道に使用	三勇士図他	3
4月17日	朝日新聞出版生活 文化編集部	「週刊マンガ日本史」59号「杉田玄白」 中に使用	弓曳き童子	1
4月20日	読売新聞大阪本社 社会部	読売新聞の紙面およびウェブサイト に使用	田中久重夫妻ガ ラス湿版	1
5月12日	関西テレビ放送報 道局報道センター	関西テレビ制作ドキュメンタリー番組に 使用	爆弾三勇絵葉書 他	4
5月8日	読売新聞大阪本社 社会部	読売新聞大阪本社の紙面およびウエ ブサイトに使用	弓曳き童子	1
6月2日	おとななテレビ制作 部	TVQ九州放送「土曜の夜は！おとなな テレビ」に使用	写真「櫛原尋常小 学校」他	4
5月26日	株式会社オルタス ジャパン	NHKBS プレミアム「CATV ネットワー ク」内で使用	若宮八幡宮縁起2 幅	2

4月2日	公益財団法人有馬記念館保存会	企画展「江戸のふしぎな動物たち」にかかる広報印刷物	版画等	78
6月10日	個人	『宮本達夫論文集』に収録	久留米市の歴史的建造物	7
6月23日	長崎歴史文化博物館	「国際都市・長崎からみたドイツ」にかかる展示制作物等	ドイツ捕虜関係資料	33
7月8日	公益財団法人有馬記念館保存会	「大名有馬家名品展」に使用	徳川家康御内書他	9
7月1日	西日本新聞	西日本新聞紙面に使用(平和資料展紹介)	「馬場皓」名刺	1
7月21日	ビーグ有限会社	福岡県商工会連合会発行カレンダーに使用	写真「大刀洗陸軍飛行場」他	2
7月17日	久留米市観光案内所	ブログ掲載	平和資料展展示資料(千人針他)	3
7月21日	RKB 毎日放送	RKB「豆ごはん。」にて久留米市の木村屋の歴史紹介に使用	ドイツ兵久留米俘虜収容所写真	1
7月24日	TBS テレビ	「ニュースキャスター」に使用	弓曳き童子、田中久重夫妻ガラス湿板	2
7月23日	株式会社 NEXTEP	BS フジ「プライムニュース」VTR内での使用	田中久重写真他	3
7月27日	東芝未来科学館	「からくり儀右衛門一代記双六」に使用(季刊「理科の探検」2015年秋号)	写真「久留米餅」他	5
7月31日	個人	地元郷土史本作成のため	筑後川絵図	1
7月31日	FBS 福岡放送	「NEWSめんたい Plus」内で使用	爆弾片他	4
8月5日	ザ・ハフントン・ポスト・ジャパン	ニュースサイト「ハフントン・ポスト日本版」戦後70年特集記事に使用	竹村逸彦氏「軍国少年日記」	1
8月10日	NHK 福岡放送	「ロクイチふくおか」でのレポート制作	竹村逸彦氏「軍国少年日記」他	3
8月13日	東京大学史料編纂所	同所附属画像史料解析センター古写真研究プロジェクトにおける調査のため	田中久重夫妻ガラス湿板、久留米城ガラス湿板	2

8月13日	共同通信社福岡支社	報道に使用	竹村逸彦氏「軍国少年日記」	1
8月13日	毎日新聞久留米支局	紙面掲載のため	爆弾三勇士関連遺品	9
8月10日	朝日新聞久留米支局	紙面及びデジタル版への掲載	久留米空襲爆弾破片	2
8月10日	朝日新聞久留米支局	紙面及びデジタル版への掲載	空襲予告のビラ (竹村逸彦氏旧蔵)	1
8月20日	株式会社ハイマート久留米	「キッズちゃれんじ」での展示使用	写真「旭屋前」他	3
8月21日	株式会社CRCCメディア	テレビ広報くもでの使用	竹村逸彦氏「軍国少年日記」	1
8月28日	個人	「九州南北朝争乱」(書名)の表紙に使用	筑後川合戦図	1
9月1日	株式会社想庵	グリーンハウス株式会社会報誌に使用	弓曳き童子、雲龍水、無尽灯	3
9月17日	株式会社西日本新聞メディアラボ	KBC テレビ「発見!九州スピリット」(八女福島の燈籠人形編)に使用	五穀神社御祭礼/ つくし物細見之図	1
9月24日	個人	中世文学会での口頭発表のため	合戦絵巻	1
9月24日	個人	著書への掲載	筑後川絵図	1
9月24日	大善寺小学校	「戦後70年 大善寺小学校 平和への願い」に使用	写真「祈願祭」(昭和18年)他	5
10月2日	第48回明善大同窓会	第48回明善大同窓会のパンフレットに使用	写真「本町ロータリー」「市役所」	2
10月2日	日本テレビ放送網株式会社	日本テレビ「スッキリ!!」にて使用	弓曳き童子他	5
10月16日	個人	Facebook への掲載	「みんなの特撮ヒーロー展」会場写真	1
10月16日	個人	Facebook への掲載	「みんなの特撮ヒーロー展」会場動画	1

10月16日	久留米市観光案内所	ブログへの掲載	「みんなの特撮ヒーロー展」会場写真	1
10月15日	石橋美術館	「花美術館」の「特集 坂本繁二郎」に使用	坂本繁二郎 権藤千之助宛書簡	1
10月15日	株式会社エー・ピー・シー・リブラ	朝日放送「西川きよしのおしゃべりあるき目です」において使用	田中久重夫妻ガラス湿版	1
10月20日	個人	ツイッターへの掲載	「みんなの特撮ヒーロー展」会場写真	0
10月19日	開隆堂出版株式会社	「アクティブラーニングで深める技術科教育」に使用	弓曳き童子、無尽灯、ねじ切りゲージ	3
10月26日	有限会社三猿舎	「江戸 300 藩物語藩史《九州篇》」に使用	写真「明治6年頃の久留米城」他	3
10月21日	株式会社ピーアールハウス	広告制作(ウェブサイト)に使用	田中久重夫妻ガラス湿版他	4
10月30日	公益財団法人有馬記念館保存会	企画展「久留米藩の参勤交代」にかかる広報印刷物	参勤交代関係資料	31
11月5日	小郡市教育委員会文化財課	クロスロードに伴う鳥栖・小郡史跡ハイキング事前学習会に使用	筑後川絵図	1
11月18日	株式会社CRCCメディア	くーみんテレビ番組内で使用(ドイツ兵ゆかりの地巡りバスツアー)	写真「中央広場演奏会場風景」他	9
11月16日	国立研究開発法人科学技術振興機構研究プロジェクト推進部	世界ロボット会議基調講演に使用	弓曳き童子	1
11月26日	関西テレビ報道センター	ドキュメンタリー「軍神」に使用	肉弾三勇士はがき他	3
12月2日	株式会社ドリームキングダム編集部	「忘却の日本史 九州篇」第3号に使用	写真「明治6年頃の久留米城」他	11
12月7日	東京都教育庁指導部義務教育指導課	東京都道徳教育教材集中学校版の伝統文化理解に係る掲載のため	弓曳き童子	1

12月14日	明善高等学校	からくり儀右衛門オーディオピクチャー 製作のため	弓曳き童子他	7
12月22日	公益財団法人有馬 記念館保存会	企画展「おひなさまとミニチュアのお道 具」にかかる広報印刷物	ひな道具他	58
12月14日	久留米市観光案内 所	ブログ掲載	「むかしのくらし 展」会場写真	5
12月22日	九州朝日放送株式 会社報道局報道部	「ニュースピア」放送	ドイツ俘虜収容所 関係写真	9
12月28日	佐賀市	「明治日本の産業革命遺産」を Google Cultural Institute 上で公開	田中久重夫妻ガ ラス湿版	1
1月5日	シー・キヤド株式会 社庄内支社	「中野浩一還暦特別番組」に使用	競輪関係資料	6
12月22日	株式会社放送映画 製作所	MBS 特別番組「1万人の第九」に使用	写真「久留米高女 でのドイツ捕虜に よる演奏会」	1
1月13日	株式会社天夢人	週刊「ビジュアル江戸三百藩」に使用	写真「明治6年頃 の久留米城」他	2
1月14日	株式会社廣濟堂出 版	「わが藩のお国自慢対決(福岡県)」に 使用	写真「明治6年頃 の久留米城」	1
1月19日	個人	大牟田の空襲を記録する会「大牟田の 空襲」第28集に使用	坂宗一の画「大牟 田松や」	1
2月25日	株式会社オカモト 商店	第10回国際絞り会議参考資料	久留米緋関係古 写真	7
2月29日	日田市立博物館	日田市立博物館のリニューアルに伴う 映像やパネル	筑後川絵図	1
3月1日	株式会社ベースポ ールマガジン社相 撲編集部	日本相撲協会機関紙「相撲」に掲載	小野川才助化粧 回し展示写真	1
3月10日	水天宮(東京)	水天宮新社殿造替「記念写真冊子」に 使用	写真「明治6年頃 の久留米城」	1
3月24日	攻城団プロジェクト	攻城団ウェブサイトを使用	久留米市歴史散 歩No.12	1

このほか撮影のみ 22 件(158 点)

計 390

VI. 文化財の活用・周知普及

1. 公開・活用事業

(1) 久留米市立六ツ門図書館展示コーナー

平成 22 年 10 月、久留米市立中央図書館西分館が「くるめりあ六ツ門」5階に移転し、六ツ門図書館として開館した。この館内に展示コーナーが設置され、当課が運営を担当している。

同展示コーナーは、100 m²を常設展、168 m²を企画展のスペースとする。常設展は、造り付けの居間及び台所に、家具や生活用品などを揃えて、昭和 30 年代の暮らしの風景を再現している。企画展は、平成 27 年度は当課主催 4 回、他部局主催 4 回を開催した。

平成 27 年度企画展一覧

No.	展示会名	会期	来場者数(人)
1	防災展	4月3日～5月6日	831
2	暮らしの中の人権展Ⅰ	5月13日～5月31日	255
3	暮らしの中の人権展Ⅱ	6月3日～6月21日	283
4	戦後70年平和資料展 少年が見た久留米の戦争	7月4日～9月6日	6,695
5	からくり儀右衛門大賞作品展	9月12日～9月19日	331
6	みんなの特撮ヒーロー —戦後日本の大衆文化—	9月19日～11月29日	3,939
7	むかしのくらし展—学校のたからもの—	12月12日～3月6日	6,317
8	人権ポスター展	3月12日～4月10日	500
9	常設展示のみ		283

合計 19,434 人

* 主催は、1 都市建設部防災対策課、2～3・8 協働推進部人権啓発センター、4～7・9 文化財保護課

* 常設展示「昭和 30 年代のくらし」（上記企画展の会期以外）

(2) 久留米市埋蔵文化財センター

①企画展

- ・第40回くるめの考古資料展「久留米の新発見 平成24～26年度発掘調査速報」

会 場：久留米市埋蔵文化財センター

期 間：平成27年10月17日（土）～11月15日（日）

内 容：平成24～26年度の期間に、久留米市内で行われた36遺跡91ヶ所の発掘調査から、新たな発見があった遺跡を中心に17遺跡の調査成果を公開。関連イベントとして2回の講演会、発掘担当者によるギャラリートーク5回、勾玉作り体験2回を実施。

見学者数：1,447名

- ・南薫の遺跡展

会 場：南薫校区コミュニティセンター

期 間：平成28年3月8日（月）～3月25日（金）

見学者数：140名

②体験イベント

- ・考古資料展関連イベント

◆歴史講座 ①「東北の遺跡を掘って」 ②「久留米城下を掘る」

会 場：サンライフ久留米2階大会議室

日 時：①平成27年10月18日（日） ②平成28年11月1日（日）13:00～14:30

参加者：①19名 ②29名

◆「ギャラリートーク」

会 場：埋蔵文化財センター

日 時：会期中毎週土曜日 14:00～14:20

参加者：(各回) 1～6名

- ・協賛イベント

◆『みづま祭り』—勾玉をつくろう—

会 場：水沼の里2000年記念の森公園

期 日：平成27年11月7日（土）・8日（日）

内 容：古代体験、勾玉づくり

参加者数：140名

(3) 坂本繁二郎生家活用事業

坂本繁二郎生家は、近代洋画の巨匠である坂本繁二郎の生家であるのと同時に久留米市に唯一残る武家屋敷である。その地域的重要性を検討して平成 15 年 7 月に久留米市有形文化財（建造物）に指定された。平成 18 年度から平成 21 年度までの 4 年間をかけて修理復原工事を行い、平成 22 年 5 月 1 日から一般公開をしている。生家では、年間を通じて様々な企画展や体験講座を開催しており、文化財の周知普及に努めている。

◆年間来場者数：6,639 名（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）

◆開館日数：307 日 1 日平均来場者数：22 人（小数点以下四捨五入）

<企画展>

坂本繁二郎 版画展	期間：平成 27 年 4 月 25 日（土）～6 月 14 日（日） 内容：坂本繁二郎の版画作品展	807 名
坂本繁二郎 写真展	期間：平成 27 年 10 月 27 日（火）～12 月 13 日（金） 内容：坂本繁二郎自身を写した写真展	670 名

<季節行事>

七夕まつり	期間：平成 27 年 7 月 1 日（水）～8 月 2 日（日） 対象：一般 入場料：通常通り（短冊を飾りに来た場合は無料） 内容：願い事を書いた短冊を笹竹に飾る。	359 名
ひなまつり	日時：平成 28 年 2 月 2 日（火）～4 月 3 日（日） 対象：一般 入場料：通常通り 内容：坂本家に伝わる雛人形を展示し、期間中に体験事業・生誕記念コンサート・お茶会を実施。	1,472 名

<お茶会>

お茶を楽しむ会	日時：平成 26 年 3 月 21 日（月、祝）10 時～15 時 主催：江戸千家久留米不白会 共催：文化財保護課 対象：一般 茶券：一般 500 円、中学生以下 300 円 ※入場料（団体料金）を含む。	140 名
---------	--	-------

<ミニコンサート>

七夕ナイト	日時：平成 27 年 7 月 25 日（土）19 時～21 時 演者：代表 松本 久実子 氏（京泉会） 対象：一般 入場料・参加費：無料 内容：生家の庭を竹燈籠とペットボトルキャンドルで彩る。 19 時 30 分から一時間程度、大正琴の演奏を行う。	150 名
-------	--	-------

生誕記念 コンサート	日時：平成28年3月12日（土） 演者：代表 壇 遼 氏（どんでばもす） 対象：一般 入場料・参加費：無料	74名
---------------	---	-----

<体験事業>

茶レンジ！ こども茶会♪	日時：平成27年6月28日（土）10時～12時 講師：西村 宗尚 氏 対象：小学生 入場料・参加費：無料 内容：お茶の作法について先生から学ぶ。	46名
流しそうめんを食 べよう♪	日時：平成27年8月22日（土）10時～12時 対象：小学生 入場料・参加費：無料 内容：青竹で箸と器を作って、地元住民と一緒に流しそうめんを 食べて楽しむ。	95名
画伯に チャレンジ！	日時：平成27年11月28日（日）10時～15時 講師：宇美 拓哉 氏 対象：小学生 入場料・参加費：無料 内容：生家・庭の中からテーマを決めて絵を描く。	24名
餅つき大会♪	日時：平成27年12月19日（土）10時～12時 対象：小学生 入場料・参加費：無料 内容：地元住民とともに、餅つきをして、ついた餅を食べる。	82名
折り紙で雛人形を 作ろう♪	日時：平成28年2月13日（土）13時30分～15時30分 講師：関根 千鶴子 氏 対象：小学生 入場料・参加費：無料 内容：折り紙で雛人形を作る。	21名

<落語>

素人落語寄席	日時：平成28年1月16日（土）13時30分～15時30分 対象：一般 入場料・参加費：無料 内容：久留米落語長屋による寄席	65名
--------	--	-----

(4) 歴史探訪

平成27年度は、平成22年5月1日に開館した坂本繁二郎生家の5周年ということで、「坂本繁二郎をしのぶ歴史探訪」と題して、坂本に縁のある土地や施設を巡った。

- ・期日 平成27年11月15日(日) ・参加者 25名(男性4名、女性21名)
- ・参加費 1,200円(昼食代として)

～行程～

時間	内容	場所
09:00～09:10	集合・受付	市役所東口(両替町公園)
09:10～09:15	移動(徒歩)	集合場所 → 久留米市役所 市民駐車場裏手(バス待機場所)
09:15～09:20	移動(バス)	市役所駐車場裏手(バス待機場所) → 坂本繁二郎生家専用駐車場
09:20～09:50	企画展 見学	坂本繁二郎生家
09:50～10:10	移動(バス)	坂本繁二郎生家専用駐車場(バス待機) → 石橋文化センター
10:10～11:10	見学	坂本繁二郎アトリエ 石橋美術館『二科100年展』
11:10～12:00	移動	石橋文化センター → メモリアルホールいわ井
12:00～12:45	昼食	メモリアルホールいわ井(八女市津江599)
12:45～13:00	移動	メモリアルホールいわ井 → 八女市役所(駐車場) → 八女市図書館
13:00～13:40	説明・見学	坂本繁二郎資料室(図書館2階)
13:40～14:00	移動・見学	八女市図書館 → 八女公園寿像見学 → 八女市役所(駐車場)
14:00～15:50	移動・見学	旧居見学 → アトリエ跡地見学 → 旧居隣接駐車場
15:50～16:15	移動(バス)	無量寿院(納骨堂・筆塚) → 伝統工芸館(トイレ休憩)
16:15～16:50	移動(バス)	伝統工芸館 → 久留米市役所 市民駐車場裏手
16:50～17:00	事務伝達・解散	今後の事業案内等

2. 協働・支援活動

(1) 出前講座

市民向け講座として実施している「出前講座」は、全庁的に取組んでいる制度で、文化財保護課では「私のまちの歴史と文化財」「歴史を体験」の2つのメニューを受け持っている。

① 私のまちの歴史と文化財

開催回数：31回

受講人数：696名

主な内容：校区コミュニティセンター主催の講座や市民団体、学校を中心に、校区の歴史、久留米市の歴史、またテーマを設けて講座を開催。

② 歴史を体験

開催回数：8回

受講人数：246名

主な内容：小学校や校区コミュニティセンターにおいて、火起こし・勾玉作り・石臼によるきな粉作りなどの体験学習を開催。

(2) 実習受け入れ

27年度は学芸員実習および看護実習の受け入れは実施せず。

3. 刊行物

(1) 久留米市文化財調査報告書

9冊の文化財調査報告書、および平成25年度分の文化財保護課年報を刊行

第361集 『南薫西遺跡 - 第8次調査 - 』 平成27年9月

第362集 『筑後国府跡 - 第282次調査 - 』 平成27年10月

第363集 『十間屋敷遺跡 - 第4次調査 - 』 平成27年12月

第364集 『水分遺跡 - 第5次調査、第7次調査遺物編 - 』 平成28年3月

第365集 『櫛原侍屋敷遺跡 - 第19次調査 - 』 平成28年3月

第366集 『十間屋敷遺跡 - 第5次調査 - 』 平成28年3月

第367集 『一丁野屋敷遺跡』 平成28年3月

第368集 『平成27年度久留米市内遺跡群』 平成28年3月

第369集 『久留米市埋蔵文化財集報XVI』 平成28年3月

久留米市文化財保護課年報 vol. 11『平成25年度版』 平成28年3月

(2) その他の刊行物

①歴史散歩

久留米市では、市民向けに郷土の文化財を解説する冊子を作成している。本年度は、久留米空襲に関する展示を行ったことからNo.41として『平和への祈り 久留米の戦争遺跡(3)～久留米空襲編～』を刊行した。また、No.16の『三島家長屋門』の在庫が無くなったため、これを改訂した。

②文化財マップ

文化財マップは、小学校校区毎の文化財の位置と解説を入れたもので、本年度は、上津校区の文化財マップを作成した。

③収蔵館ニュース

久留米市文化財収蔵資料の調査・収集・保存・活用について紹介するため、平成元年度より年1回発行。同17年度に『仮称 久留米歴史博物館準備だより』より改題。平成27年度は第12号を発行(改題通算38号)。

(3) 文化財説明板作成設置

本年度は「あげ舟」、「柳坂曾根の櫛並木」、「武田東山先生の墓碑」、「旧市庁舎部材」の文化財説明板の説明板等を作成設置した。

○県指定有形民俗文化財「あげ舟」・・・説明板が古くなっていたため、文章を見直して改修した。

○県指定天然記念物「柳坂曾根の櫛並木」・・・平成26年度に破損したため、新規に設置した。

○「武田東山先生の墓碑」・・・古くなり破損したため、新たに設置した。

○「旧庁舎部材」・・・旧市役所庁舎の部材を宮ノ陣クリーンセンターで再利用したため、部材の来歴について解説する説明板を設置した。

Ⅶ. 協議会・研修会派遣

1. 協議会

(1) 全国史跡整備市町村協議会

○事務局 国分寺市（東京都）

○加盟市町村数 517市町村（400市、151町、16村）平成27年10月7日現在

①第50回全国史跡整備市町村協議会高岡大会

開催日：平成27年10月7日（水）～9日（金）

開催場所：ホテルニューオータニ高岡（富山県高岡市）

第50回記念大会シンポジウム「全国の遺跡の整備と活用を考える」

黒崎 直 氏（大阪府弥生文化博物館長）

パネルディスカッション

テーマ「地域の中の文化財 - 記念物・文化的景観の保存活用の今後を見据えて -」

コーディネーター 佐藤 正知 氏（文化庁主任文化財調査官）

パネリスト 田中 哲雄 氏（日本城郭研究センター名誉館長）

増淵 徹 氏（京都橘大学教授）

黒崎 直 氏（大阪府弥生文化博物館長）

事例発表 菅原 弘樹 氏（奥松島縄文村歴史資料館）

田中 大輔 氏（南アルプス市教育委員会）

城戸 康利 氏（太宰府市教育部）

②臨時大会

開催日：平成27年11月12日（木）

開催場所：ホテルニューオオタニ（東京都千代田区）

※久留米市は、福岡縣市町村文化財保存協議会事務局として参加

(2) 全国公立埋文センター連絡協議会 中国・四国・九州ブロック会議

○幹事：山口県埋蔵文化財センター（中・四国）、鹿児島県埋蔵文化財センター（九州）

○加盟団体：21団体（鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、香川県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、井原市、岡山市、倉敷市、津山市、東広島市、福岡市、北九州市、小郡市、久留米市、松浦市、宮崎市）

開催日：平成27年10月8日（木）～9日（金）

開催場所：宮崎市民プラザ4階中会議室（宮崎市橘通西1丁目1-2）

協議事項：「普及啓発事業における学校教育との連携について」等15の議題を協議

視察地：生目古墳群史跡公園、生目の杜遊古館、史跡穆佐城跡

(3) 第5回古代山城サミット基山大会

○事務局：基山町教育委員会

○加盟市町村数：31市町（平成27年4月1日現在）

開催日：平成27年10月2日（金）～3日（土）

開催場所：基山町民会館

開会行事、基肆城跡等現地見学会、自治体首長会議

記念講演：「古代山城を活かしたまちづくり」佐藤 正知 氏（文化庁主任文化財調査官）

基山町立小中学校合同創作劇「こころつないで～基肆城に秘められたおもい～」

閉会行事

(4) 九州地区市町村文化財保存整備協議会

○事務局 福岡市

○加盟市町村数 83市町村（58市、24町、1村）平成27年4月1日現在

①総会

開催日：平成27年7月29日（木）～30日（金）

開催場所：宗像ユリックス（福岡県宗像市）

議 事：総会決議

講 話：「近代遺跡の保存について」五島 昌也 氏（文化庁記念物課整備部門）

研究協議：「宗像市の世界遺産登録活動」岡 崇 氏（宗像市世界遺産登録推進室）

「田熊石畑遺跡の整備事業」白木 英敏 氏（宗像市郷土文化課文化財係）

視察研修：田熊石畑遺跡歴史公園、宗像大社、宗像大社神宝館、海の駅むなかた館

(5) 福岡縣市町村文化財保存整備協議会

○事務局 久留米市

○加盟市町村数 52市町村（27市、24町、1村）平成27年3月31日現在

①総会

開催日：平成27年5月29日（金）

開催場所：大野城まどかぴあ（大野城市）

議 事：第1号議案 平成26年度事業及び決算報告

第2号議案 役員の改選について

第3号議案 役員の承認について

第4号議案 平成27年度事業計画及び予算（案）

第5号議案 次期総会開催地の決定について

記念講演：青木 達司 氏（文化庁文化財部記念物課文化財調査官）

記念シンポジウム

テーマ「文化財の未来へのつながりとひろがりを考える」

コーディネーター：見城 俊昭（大野城市教育委員会 教育部長）

パネリスト：徳永 淳（宗像市経営企画部企画課世界遺産登録推進室長）

宮井 善朗（福岡市経済観光部局大規模史跡整備推進課長）

城戸 康利（太宰府市教育委員会文化財課 副課長）

視察研修 特別史跡 水城跡

②研修会

開催日：平成27年11月13日（金） 10時～16時30分

開催場所：福岡県吉塚合同庁舎 702会議室

研修内容：遺跡写真のデジタル化と撮影法、ライティングの基礎とデジタル撮影、
写真画像の処理と保管

講師 中村 一郎 氏（独立行政法人 奈良文化財研究所）

（6）福岡県装飾古墳保存連絡協議会

○事務局 桂川町教育委員会（王塚古墳装飾古墳館）

○加盟市町村

①平成27年度研修会

開催日：平成27年7月10日（金）

開催場所：飯塚市歴史資料館（飯塚市）

事例報告：「装飾古墳におけるデジタルデータの計測」

「装飾古墳におけるデジタルデータの活用」

現地見学：飯塚市歴史資料館、川島古墳公園

（7）北筑後文化財行政連絡協議会

○事務局 久留米市

○加盟市町村 朝倉市、うきは市、小郡市、久留米市、大刀洗町、筑前町、東峰村

①総会

開催日：平成27年5月22日（金）

開催場所：北筑後教育事務所（久留米市）

②北筑後文化財フェスタ

事業名：北筑後の戦跡を巡る

開催日：平成27年9月5日（土） 9時30分から16時

見学コース：「少年が見た久留米の戦争」展見学（六ツ門図書館展示コーナー）→陸軍墓地（久留米市野中町）→大刀洗飛行場（筑前町）

内容：戦後70周年の節目に、北筑後に残る戦跡を巡るバスツアーを実施。

- ③筑後川流域装飾古墳同時公開 平成27年10月19日(土) 9時から16時30分
公開古墳 花立山穴観音古墳(小郡市) 仙道古墳(筑前町) 狐塚古墳(朝倉市)
浦山古墳・日輪寺古墳(久留米市) 珍敷塚古墳・原古墳(うきは市)
五郎山古墳(筑紫野市)

④担当者研修会

加盟市町村担当職員の技能向上を目的として実施。

・第1回研修会

期 日：平成27年8月7日(金) 14時～17時

場 所：小郡市埋蔵文化財センター

内 容：事前審査についての講話と意見交換を行う。参加者数22名

講 師：佐藤 一郎 氏(福岡市経済観光文化局文化財部)

・第2回研修会

期 日：平成28年3月23日(木) 14時～17時

場 所：北筑後教育事務所 視聴覚室

内 容：「近年の文化財保護行政について」、「朝倉軌道」の講話及び加盟市町村が平成27年度に行った文化財事業(試掘確認・発掘調査・整備・普及啓発等)の事業を発表・意見交換を行った。参加者数18名

(8) その他の加入協議会

①九州博物館協議会

②福岡県博物館協議会

2. 研修派遣

(1) 文化庁主催研修会

①史跡等・重要文化的景観マネジメント研修会、文化的景観保護実務研修会
記念物保護行政担当者会議

開 催 日：平成27年6月16日(水)～17日(金)

開催場所：文部科学省 東館

②第2回埋蔵文化財担当職員等講習会

開 催 日：平成28年2月3日(水)～5日(金)

開催場所：鹿児島県歴史資料センター黎明館(鹿児島県鹿児島市)

(2) 福岡県教育委員会主催研修会

①福岡県埋蔵文化財安全講習会

開 催 日：平成27年7月15日(水)

開催場所：九州歴史資料館(小郡市)

講習会：「健診結果を生活習慣改善に活かそう～埋蔵文化財発掘調査現場等での健康づくり～」

吉田 純子 氏(福岡県北筑後保健福祉環境事務所)

②福岡県文化財担当職員研修

開催日：平成27年10月22日（木）13:00～17:00

開催場所：福岡県吉塚合同庁舎 801 会議室

「文化財保護行政における近年の動向」杉原 敏之 氏

「世界遺産の取組みについて」企画・地域振興部総合政策課世界遺産登録推進室

「文化財建造物の登録にむけて」田上 稔 氏

「名勝調査事業の取組みと文化財庭園フォーラムについて」正田 実知彦 氏

（3）他団体

①第3回まちなみフォーラム in 内野宿

開催日：平成27年11月13日（金）10時～17時

開催場所：正円寺（飯塚市内野）

（4）課内研修

①埋蔵文化財調査チーム専任非常勤職員研修

第1回 「近世陶磁器の資料作りにむけて ー活用しやすい資料についての検討ー」

開催日：平成27年6月4日（木）

研修内容：肥前系、瀬戸、京都など、近世の調査で出土量が多い陶磁器について、報告書作成に活用できる資料を作成する。今年度は染付文様の図柄を収集、分類し、実測や出土遺物一覧表作成時に名称等の検索を容易にし、混乱が見られる名称を統一するための台帳作成作業を行うため、その様式などを決定。

その後は年度末まで、近世の発掘調査報告書作成に向けて整理作業を行う中で、図紋の例を収集し、内容を充実させていく作業を進めた。

Ⅷ. 所管団体の事業

1. 公益財団法人有馬記念館保存会

(1) 運営体制

(平成28年3月31日現在)

役員名	所属	氏名
会 長	久留米市長	檜 原 利 則
副 会 長	久留米商工会議所会頭	本 村 康 人
常務理事	久留米市市民文化部長	野 田 秀 樹
理 事	篠山神社宮司	山 田 茂 人
理 事	久留米大学理事長	神 代 正 道
理 事	(株)ブリヂストン九州生産本部 総務部長	酒 井 田 達 朗
監 事	(株)福岡銀行執行役員・県南地区 本部本部長	権 藤 尚 彦
監 事	久留米市会計管理者	長 尾 孝 彦

評 議 員	久留米市副市長	橋 本 政 孝
評 議 員	久留米郷土研究会代表	樋 口 一 成
評 議 員	篠山神社総代	河 北 宣 正
評 議 員	(公財)久留米観光コンベンション 国際交流協会常務理事	辻 文 孝
評 議 員	(株)ブリヂストン九州生産本部 総務部総務課長	木 村 裕
評 議 員	久留米市市民文化部次長	竹 村 政 高

・事務局

事務局長(1) — 事務局次長(1) — 事務局員(5)

・会議の決議事項

会 議	年 月 日	議 決 事 項
評議員会の書面表決	平成27年4月6日	(1) 監事選任の件の承認
第1回理事会	平成27年6月2日	(1) 平成26年度事業報告及び決算についての承認 (2) 第2回評議員会の招集についての承認

第2回評議員会	平成27年6月24日	(1) 平成26年度事業報告及び決算についての承認
第2回理事会	平成28年3月24日	(1) 平成28年度事業計画、収支予算、資金調達及び設備投資の見込みについての承認 (2) 平成28年度第1回評議員会の招集についての承認

(2) 周知事業

公益財団法人有馬記念館保存会では、地域の先人達が収集し伝承してきた貴重な郷土の資料や文化を、社会教育や学校教育に貢献することを目的とし、【1】資料の展示公開を通じて郷土の文化財の普及啓発、【2】他館や地域との連携・周知、【3】そのために、寄贈・寄託・収集資料の調査研究を行い、【4】安全な環境の中で保存管理するとともに、これらの事業を展開するための【5】施設の管理維持、などの事業を行っている。

①平成27年度実施事業の概要

「有馬記念館リニューアル5周年記念企画展」と銘を打ち、久留米に関わる歴史・文化の展示公開を主な目的とした企画展を4回開催した。

企画展「江戸のふしぎな動物たち」（平成27年6月6日～8月31日）は、学校の夏休み期間に合わせて、小・中学生とその家族も一緒に楽しめる＝幅広い世代が親しみやすい「動物」をテーマとし、江戸時代に描かれた絵画を中心に展示公開した。また、会期中には、「折り紙で作ろう動物たち」「判じ絵クイズ」を開催した。

企画展「大名有馬家名品展」（平成27年9月19日～11月16日）では、大名有馬家ゆかりの美術工芸品や歴史資料から、選りすぐりの品々を紹介し、甲冑や刀剣・薙刀などの武具や、書画、調度品などを展示し、有馬家の歴史をたどった。会期中、立花家史料館の植野かおり館長を招いて、「武家のアイデンティティーー久留米藩主有馬家の武具甲冑ー」と題した講演会を開催した。

企画展「久留米藩の参勤交代」（平成27年11月28日～1月25日）では、参勤交代のきまりを記した古文書、藩士の道中日記や携行品、江戸藩邸の様子を描いた絵画などを展示し、久留米藩の参勤交代を紹介した。

企画展「おひなさまとミニチュアのお道具」（平成28年2月13日～4月4日）では、たんすや棚、文房具、食器類など、蒔絵で装飾された精巧なミニチュアの調度類を一堂に公開し、有馬家で実際に飾られていたひな壇を再現した。また「春の香りの印香作り」と題し、お香作りのワークショップも開催した。

②加入協議会

- ・福岡県博物館協議会

2. 公益財団法人久留米絣技術保存会

(1) 運営体制

・役員

平成 26 年 3 月 31 日現在

役員名	所 属	氏 名
理事長	久 留 米 市 長	檜 原 利 則
常務理事	久留米市市民文化部長	野 田 秀 樹
理事	八 女 市 文 化 課 長	松 尾 一 秋
理事	筑後市教育委員会社会教育課長	高 木 正 勝
理事	広川町商工観光課長	山 下 俊 子
理事	大木町生涯学習課長 図書・情報センター館長	本 村 伸 治
理事	重要無形文化財久留米絣保持者会会長	松 枝 哲 也
理事	久留米絣協同組合理事長	池 田 光 政
理事	久留米絣縞卸商協同組 理 事 長	野 口 和 彦
監事	久留米市会計管理者	長 尾 孝 彦
監事	八女市教育委員会教育長	吉 住 政 子

評議員	福岡県文化財保護課長	赤 司 善 彦
評議員	久留米市教育委員会教育長	堤 正 則
評議員	久留米商工会議所会頭	本 村 康 人
評議員	筑後商工会議所副会頭	大 藪 健 介
評議員	広川町商工会会長	高 鍋 一 正
評議員	大木町商工会会長	菰 方 重 義
評議員	久留米南部商工会会長	中 村 哲 郎

・事務局

事務局長(1) — 事務局次長(1) — 事務局員(1)

・会議議決事項

会 議	年 月 日	議 決 事 項 (すべて承認)
第 1 回評議員会	平成 27 年 4 月 3 日	(1) 監事の選任について
第 1 回理事会	平成 27 年 6 月 3 日	(1) 平成 26 年度事業報告並びに決算について (2) 第 2 回評議員会の招集について
第 2 回評議員会	平成 27 年 6 月 24 日	(1) 平成 26 年度事業報告並びに決算について (2) 監事の選任について (3) 理事の選任について
第 3 回理事会	平成 28 年 3 月 23 日	(1) 平成 28 年度事業計画、収支予算、資金調達及び設備投資の見込みについて (2) 重要無形文化財久留米絣選考委員会規程の制定及び重要無形文化財久留米絣技術研修生成業規程の改正について (3) 評議員会の招集について

(2) 久留米絣技術保存事業

公益財団法人久留米絣技術保存会は、国庫補助金 1,500 万円、県費補助金 250 万円及び関係団体等の負担金により国庫補助事業である重要無形文化財久留米絣の伝承者養成事業等を行い、制作技術を保護し、その保存管理及び活用を図った。

事業内容については、重要無形文化財久留米絣の指定要件である、手括り、藍染め及び手織りの技術を対象として、久留米絣本来の技術保存のため、技術保持者に 2 反、伝承者養成として技術伝承者に 46 反の制作を行った。

また、平成 21 年度より開始した技術養成事業の第 4 回技術研修生を対象に、手括り・藍染め・手織り等の研修会を開催し、技術の恒久的保存とさらなる向上に努めるとともに、「新作展」等の展示会を福岡市と久留米市で開催し、久留米絣の PR に努め、歴史及びデザインの教材として参考資料の購入と、保存資料の撮影及び整理を行なった。

・技術者等養成研修事業

手括り研修会	平成 27 年 6 月 8 日～6 月 10 日
藍立て研修会	平成 27 年 6 月 12 日
藍染め研修会	平成 27 年 8 月 3 日
手織り研修会	平成 27 年 8 月 19 日～8 月 21 日
制作委員会	平成 28 年 3 月 2 日・10 日・27 日
技術研修生 1 名の技術伝承者への推挙	平成 28 年 2 月
技術伝承者 5 名に技術保持者への推挙	平成 28 年 3 月

・品質管理事業

- 第1回中間検査 平成27年8月21日
- 第2回中間検査 平成27年11月20日
- 第1回作品検査 平成27年10月23日
- 第2回作品検査 平成27年12月18日
- 第3回作品検査 平成28年2月12日

・原材料及び用具の確保事業

- アラソウ生育調査 平成27年6月26日
- アラソウ刈取り・製造支援 平成27年8月1日・2日

・資料収集整理及び研究調査事業

- 保存資料の整理 平成28年1月19日～1月28日
- 保存資料の撮影委託 平成28年3月
- 参考資料購入着尺3点 (不可欠特定財産とする)

・展示会事業

- 新作展(福岡市) 平成28年2月15日～21日 (入場者数:3,230名)
場所:アクロス福岡 匠ギャラリー 平成27年度研修作品・古布等を展示 手織りの実演
- 新作展(久留米市) 平成28年3月19日～20日 (入場者数:380名)
場所:地場産くるめ 平成27年度制作作品・研修生作品・古布等を展示

・その他の事業

- 共立女子大学への資料提供及び久留米絣展示会の視察
- 全国重要無形文化財保持団体協議会久米島大会への参加

(3) 全国重要無形文化財保持団体協議会(久留米市加盟)

○目的

全国重要無形文化財保持団体および関係する市町村が協調し、重要無形文化財の保存に関する調査研究およびその具体的方策の推進を図り、もって重要無形文化財の技術伝承と保存活用に資することを目的とする。

○事業

1. 役員会 平成27年7月2日 島根県浜田市 (浜田ワシントンプラザ)
2. 総会 平成27年11月5日～6日 久米島大会 沖縄県久米島町
平成27年11月5日 行政担当者会議・大会(具志川農村環境改善センター)
平成27年11月6日 視察研修(久米島紬 真謝ユイマール館、西銘ユイマール館)
3. 普及活動 第23回重要無形文化財保持団体秀作展 「日本の伝統美と技の世界」
平成27年11月5日～平成27年11月22日

報告（２） 平成28年度の事業概要

I. 文化財保護課の体制

久留米市		〒830-8520 久留米市城南町15-3 bunkazai@city.kurume.fukuoka.jp			
		課長	チームリーダー	事務職	専門職
<p>教育長 堤 正則 0942-30-9000</p> <p>市長 楢原 利則 副市長 橋本 政孝 森 望</p> <p>市民文化部 (市長部局) 市民文化部長 野田 秀樹 文化芸術担当部長 甲斐田 忠之</p> <p>市民文化部次長 竹村 政高</p> <p>文化財保護課 0942-30-9225 FAX 0942-30-9714</p> <p>埋蔵文化財センター 0942-34-4995 FAX 0942-34-5045</p> <p>文化財收藏館 0942-38-6194 FAX 0942-34-5045</p> <p>西町発掘調査事務所 TEL/FAX 0942-37-7687</p> <p>筑後国府跡発掘調査事務所 TEL/FAX 0942-45-1075</p> <p>六ツ門図書館展示コーナー 0942-27-9281 FAX 0942-27-7281</p> <p>有馬記念館 TEL/FAX 0942-39-8485</p>	文化財保護課	埋蔵文化財 課長補佐 山崎 万里子	事務主査 豊福 早苗	主査 水原 道範 事前確認 塚本 映子(事務主査) 本田 岳秋 西町発掘調査事務所 熊代 昌之 廣木 誠 江頭 俊介 西 拓巳 古賀 和子(専) 宮崎 彩香(専) 筑後国府跡発掘調査事務所 神保 公久 小川原 励 米澤 美詠子(専) 埋蔵文化財センター 園井 正隆(再)	
	課長兼埋蔵文化財 センター所長 馬場 博文	学芸 課長補佐 白木 守	事務主査 小形 孝徳	小澤 太郎 穴井 綾香 佐藤 響子 穴井 綾香 文化財收藏館 寺崎 勝美(嘱) 吉岡 秀美(専) 石橋久美子(専) 六ツ門展示コーナー 中村 吉文(再) 松田 弘(嘱)	
		(公財)有馬記念館 保存会	津村 眞知 高取 莉沙(任)		
	保存管理 主査 丸林 禎彦	市村 久美子 倉吉 孝道 古賀 文子(任)	江島 伸彦 神保 公久(兼任) 廣木 誠(兼任)		
	(公財)久留米餅 技術保存会 事務局長 馬場 博文	事務局次長 丸林 禎彦	大藪 住江	白木 守 江島 伸彦 市村久美子 倉吉 孝道	

(再) は再任用職員、(嘱) は嘱託職員、(専) は専任非常勤職員、(任) は任期付非常勤職員の略。

II. 文化財の指定

市内の指定文化財は、国指定文化財 27 件、県指定文化財 43 件、市指定文化財 103 件、国登録文化財 5 件である。

【国・県指定文化財の動向】

有馬家大名墓地の霊屋の調査報告を今年度に行う。

石橋財団が所蔵する重要文化財 7 件（絵画 5 件、工芸品 1 件、書跡 1 件）については、石橋美術館からブリヂストン美術館へ移管されることが決定している。また、県指定無形文化財である「久留米緋織締」は久留米市から広川町へ管理が移管される予定である。

昨年度、指定候補としていた「虫追い祭」については、後継者等の課題もあり、保護団体内部で文化財指定について慎重な意見がでてきており、協議の結果本年度の指定は見送りとした。保護団体とは今後も協議を継続していく。

久留米市内の指定文化財表

指定別	総数	有形文化財										無形文化財	有形民俗文化財	無形民俗文化財	史跡	名勝	天然記念物	選定技術保存	登録文化財
		総数	建造物	絵画	彫刻	工芸品	書跡	典籍	古文書	考古資料	歴史資料								
総数	178	87	21	11	18	9	2		7	9	3	2	31	10	23	1	26	0	5
国	32	20	2	3	4	2	1		0	0		1	0	1	9	0	3	0	5
県	43	22	8	3	3	3	0		2	3		1	5	2	6	0	7	0	0
市	103	45	11	5	11	4	0		5	6	3	0	26	7	8	1	16	0	0

(平成 28 年 3 月 31 日)

※史跡と天然記念物に二重指定されている「目安町の一里塚」は、史跡に入れている。

Ⅲ. 埋蔵文化財調査事業

1. 事前確認及び発掘調査事業

ここ数年民間開発に伴う分譲・宅地造成・マンション建設に伴う発掘調査が依然として増加傾向にある。窓口での「埋蔵文化財包蔵の有無についての照会」（事前確認）は、前年比1.2倍と増加傾向にある。また、市街地の小学校建て替えに伴う調査も30年度まで予定されており、公共・民間事業共に減少の兆しは見られない。

9月現在発掘調査中の遺跡

調査番号	遺跡名	調査期間	担当者
201513	久留米城外郭遺跡（第23次調査）	平成28年2月11日～平成28年7月29日	江頭
201601	白川遺跡（第6次調査）	平成28年4月11日～平成28年7月8日	西
201602	京隈侍屋敷遺跡（第28次調査）	平成28年4月11日～平成28年6月17日	小川原
201603	京隈侍屋敷遺跡（第29次調査）	平成28年5月9日～平成28年5月23日	熊代
201604	筑後国府跡（第285次調査）	平成28年6月6日～平成28年7月22日	廣木
201605	京隈侍屋敷遺跡（第30次調査）	平成28年6月30日～平成29年6月末終了予定	熊代
201606	十間屋敷遺跡（第6次調査）	平成28年7月6日～平成28年8月28日	西
201607	白川遺跡（第7次調査）	平成28年7月25日～平成28年9月2日	小川原
201608	大園遺跡（第5次調査）	平成28年7月27日～平成28年8月18日	神保
201609	十間屋敷遺跡（第7次調査）	平成28年8月1日～平成28年8月24日	江頭
201610	へボノ木遺跡（第73次調査）	平成28年8月1日～平成28年11月末終了予定	廣木
201611	白川遺跡（第8次調査）	平成28年9月5日～平成28年10月31日終了予定	西
201612	市ノ上北屋敷遺跡（第8次調査）	平成28年9月12日～平成28年10月31日終了予定	江頭
201613	高良山講堂跡（第1次調査）	平成28年9月13日～平成28年10月21日終了予定	神保

2. 埋蔵文化財センター

平成18年度から実施している国庫補助事業の「埋蔵文化財保存活用整備事業」では、昨年度より筑後国府跡の再整理に着手しており、報告書を作成するための整理作業を実施する。

今年度はまず、古宮・大林地区、阿弥陀地区の出土資料を再点検し、古宮・大林地区については今年度中に報告書を発行する予定である。

この他、前年度同様、発掘調査および報告書が刊行された遺跡について、出土品を含む記録類の受け入れを行い、資料の貸出や閲覧に対応できるよう情報を管理し、收藏する。

IV. 文化財保存・整備事業

本年度に係る事業は、美術品4点の修復、建造物の修復事業1件、民俗文化財保存事業2件、史跡等の整備に係る事業及び天然記念物に係る事業5件である。

1. 有形文化財

(1) 収蔵資料補修事業

平成28年度の収蔵資料補修事業は、伝坂本繁二郎「山水図」(紙本墨画・掛幅装)、三谷有信「筑後国府図」(紙本着色・一紙)、三谷有信「高良山真景図」(紙本着色・一紙)、三谷有信「高良山神籠石略図」(紙本着色・一紙)の4点について実施する。補修は熊本市の富永米山堂へ委託する予定である。

(2) 建造物修復・悉皆調査事業

①高良大社本殿・幣殿・拝殿保存修理事業

昨年より継続して工事を行っている。2年目の今年度は、本殿の屋根部分を主に修復する予定である。また、保存修理事業に伴い、神社関連施設も合わせて建て直しを行う予定で、これに先行して9月13日より発掘調査を行い、高良大社に関連する遺構を確認する。

②寺町歴史的建造物等調査事業

平成25年度より実施している事業で、本年で4ヵ年目となる。過去3年間で10ヵ寺院を調査しており、今年は2ヵ寺院の調査を予定している。

③高良山神籠石環境整備事業

神籠石の指定地内で、民家と隣接する部分の法面が緩み、危険な状態となっているので、法面保護のための工事を実施し、史跡の安全性と見学の利便性を向上する。

2. 記念物

(1) 史跡整備事業

①筑後国府跡歴史公園整備事業

平成28年度については、3件の史跡地の買上げを予定している。契約が成立すれば、国司館地区の買上げが終了する。全体の公有化率は85.22%となる。

②史跡筑後国府跡保存活用計画策定事業

平成28年度から2ヵ年の計画で保存活用計画を策定する。本年度は1/1,000縮尺の地図と筑後国府跡の現地調査を行い、現況を確認する。

V. 文化財管理事業

1. 文化財保護団体育成補助事業

文化財保護課では、地域の文化財を保護育成するため、15団体の事業へ補助金を交付している。

(1) 文化財保護団体

- | | |
|--------------------|----------------------------|
| ・鬼夜保存会 | 重要無形民俗文化財「鬼夜」管理団体 |
| ・花火動乱蜂保存会 | 県指定無形民俗文化財「動乱蜂」管理団体 |
| ・草野風流保存会 | 市指定無形民俗文化財「須佐能袁神社の神幸祭」管理団体 |
| ・若宮八幡宮神幸祭実行委員会 | 市指定無形民俗文化財「若宮八幡宮神幸祭」管理団体 |
| ・八丁島の御供納 | 市指定無形民俗文化財「八丁島の御供納」管理団体 |
| ・御井町風流保存会 | 市指定無形民俗文化財「御井町風流」管理団体 |
| ・満月会保存会 | 市指定無形民俗文化財「十五夜さん大綱引き」管理団体 |
| ・高良山同志会 | 市指定無形民俗文化財「高良山獅子舞」管理団体 |
| ・特定非営利活動法人ヒナモロコ里親会 | 市指定天然記念物「ヒナモロコ」保護活動団体 |
| ・NPO法人ヒナモロコ郷づくりの会 | 市指定天然記念物「ヒナモロコ」保護活動団体 |

(2) 研究会・文化財を活かした地域活動団体

- ・高良山の緑と史跡を守る会
- ・久留米郷土研究会
- ・山川校区郷土研究会
- ・田主丸郷土会

2. 文化財施設・史跡等管理事業

文化財保護課が所有している施設及び指定史跡を4団体、2名に管理委託し、史跡2箇所草刈りについては、指名競争入札により業者へ委託している。

(1) 指定文化財の管理業務

- | | | | |
|----------|---------------|------------------------|----------|
| ・浦山古墳 | 国指定史跡 | 保存庫の施錠管理、見学者の応対 | 成田山久留米分院 |
| ・下馬場古墳 | 国指定史跡 | 保存庫の施錠管理、見学者の応対 | 個人 |
| | | (平成26年度から環境調査のため見学停止中) | |
| ・高良山神籠石 | 国指定史跡 | 高良山神籠石の清掃、見回り点検 | 高良大社 |
| ・日輪寺古墳 | 国指定史跡 | 保存庫の施錠管理、見学者の応対 | 日輪寺 |
| ・大善寺旧庫裡 | 市指定有形文化財(建造物) | 旧庫裡の施錠管理、清掃、点検 | 個人 |
| ・目安町の一里塚 | 市指定史跡天然記念物 | 市有地の草刈り、清掃。年3回実施 | 目安町自治会 |
| ・筑後国府跡 | 国指定史跡 | 市有地の草刈り、清掃。年3回実施 | 委託 |
| ・安国寺甕棺墓群 | 国指定史跡 | 市有地の草刈り、清掃。年3回実施 | 委託 |

(2) 歴史公園管理業務

以下の施設の管理業務について、地域団体等に委託している。

- ・おおはし歴史公園 県指定有形文化財（建造物）の石浦大橋を含むおおはし歴史公園の日常管理・清掃、草刈り、公衆用トイレの清掃
- ・御塚権現塚史跡の広場 国指定史跡 御塚古墳、権現塚古墳と公園敷地内の日常管理・清掃、草刈り、公衆用トイレの清掃
- ・大塚古墳歴史公園 国指定史跡 田主丸大塚古墳と歴史公園の日常管理・清掃、草刈り、公衆用トイレの清掃

3. 防犯・防災事業

(1) 文化財防火デー

文化財愛護に関する意識の高揚を図る目的として、毎年1月26日を「文化財防火デー」と定めており、例年、久留米市でも関係機関とともに訓練を実施している。本年においては、須佐能袁神社において防火訓練を実施する。

日 時：平成29年1月某日 午前中

場 所：須佐能袁神社（久留米市草野町）

主 催：久留米市

内 容：例年通り火災想定シミュレーションを実施。

参加者：未定

(2) 防災施設設置及び管理事業

重要文化財「木造阿弥陀如来立像」を所有する無量寺が、火災報知機等の防災施設を設置するため、補助金を交付した。その他、例年同様、防災施設の管理に関する補助金を交付している。

- ・高良大社所蔵文化財 重要有形文化財、県指定文化財各種 管理に対する補助金 高良大社
- ・善導寺所蔵文化財 重要有形文化財、県指定文化財各種 管理に対する補助金 善導寺
- ・木造阿弥陀如来立像 重要有形文化財 管理に対する補助金 専念寺
- ・木造阿弥陀如来立像 重要有形文化財 管理に対する補助金 無量寺
- ・上野家住宅御成間 県指定有形文化財 管理に対する補助金 個人
- ・鹿毛家住宅 県指定有形文化財 管理に対する補助金 個人
- ・須佐能袁神社本殿・拝殿・楼門 県指定有形文化財 管理に対する補助金 須佐能袁神社
- ・地蔵来迎図板碑 県指定有形文化財 管理に対する補助金 国分寺
- ・朝日寺木造神子栄尊坐像 県指定有形文化財 管理に対する補助金 朝日寺（秋以降申請予定）

VI. 文化財の活用・周知普及

1. 公開活用事業

(1) 久留米市六ツ門図書館展示コーナー

六ツ門図書館展示コーナーは、平成22年10月の開館以来、毎年1.5万人を超える来場者を数えている。平成28年度は開館6年目にあたり、累計入館者数が10万人に達することが予測される。平成28年度は、市民の生活に大きく関わる「戦争と平和」「地震災害」「まつりとくらし」をテーマとして取り上げ、更なる集客を図る。

また、春先を中心に、当課主催企画展の空き期間中に他部局主催の展示も行っている。今年度は3回実施している。

① 平和資料展「荒木・久留米空襲の証言」

会期： 平成28年7月2日（土）～平成28年9月11日（日）

主旨： 昨年度好評を博した「戦後70年平和資料展・少年が見た久留米の戦争」展では、来館した市民から、荒木・久留米空襲に関する数多くの体験談が寄せられた。これらをもとに、本市所蔵品や借用した実物、写真、映像など各種資料を展示し、戦争体験のない世代へも空襲の悲惨な実態や当時の市民生活をわかりやすく伝えていく。

関連イベント： 証言会「空襲体験者は語る」 8月14日（日）

紙芝居「二つの弾片」上演 7月31日（日）

空襲遺跡ウォーク&久留米空襲戦災死者慰霊祭参列 8月11日（祝・木）

夏休みの自由研究相談会 8月7日（日）

ギャラリートーク 7月17日（日）・8月28日（日）・9月4日（日）

入場者数 4,297人＋ウォーキング18人 合計 4,315人

② 企画展 東日本大震災から5年「大地に残る地震の爪あと」

会期： 平成28年9月24日（土）～平成28年11月27日（日）

主旨： 東北地方に甚大な被害をもたらした大震災から5年。久留米地域は比較的地震が少ないといわれるが、歴史上繰り返されてきた地震とその被害を伝える各種資料を展示することで、市民の防災・減災意識を喚起したい。

関連イベント： 講演会「大地に学ぶ-遺跡に残された地震の爪あと-」

ギャラリートーク（全3回）

「液状化現象」親子ワークショップ

歴史探訪「地震痕跡をめぐるバスツアー」

③ 企画展「むかしのくらし展-くるめの年中行事とまつり-」

会期： 平成28年12月10日（土）～平成29年3月5日（日）

主旨： 例年、小学3年生の社会科学習の「むかしの暮らし」単元に合わせ、久留米の昔の暮らしをテーマとする展示会を実施している。本年度は生活スタイルの変化の中、忘れ去られようとしている年中行事と祭りを取りあげる。展示にあたっては、市内外の小学校との連携を図り、学校教育を支援する。また、介護施設などに入所する高齢者の記憶を呼び起こし、思い出を語り合う回想法の場としての広報を行い、団体客の利用を促進する。

六ツ門図書館展示コーナーにおける他部局実施展示一覧

会期	展示会名	主催	入場者数(人)
3月12日～4月10日	人権ポスター展	協働推進部人権啓発センター	129
4月16日～5月15日	環境パネル展	環境部環境保全課	566
5月21日～6月19日	防災展	都市建設部部防災対策課	779

(2) 久留米市埋蔵文化財センター

普及事業としては、通年において収蔵資料の貸し出し及び閲覧に対応できる体制を整える。

また、展示会等の公開事業としては、9月上旬に「久留米市理科作品展」と連携した「からくり儀右衛門大賞小・中学生創作作品展」を実施する。さらに、例年開催する企画展「第41回くまの考古資料展」は、10～11月にかけて『大地に残る地震の爪あと』をテーマに関連展示を開催する。

体験イベントとしては、「みづま祭り」において『勾玉づくり』のブースを設け、多くの市民に体験してもらい、文化財の普及・啓発を行う。

12月には上津校区コミュニティセンターを会場として、「上津の文化財」を開催する。上津校区の発掘調査の成果や地元に残る史跡を紹介した企画展を開催する。地域に根ざした文化財の普及・啓発を目的とする展示会であり、開催期間中に関連講座を2回予定している。

(3) 坂本繁二郎生家活用事業

坂本繁二郎生家は、近代洋画の巨匠である坂本繁二郎の生家であるのと同時に久留米市に唯一残る武家屋敷である。その地域的重要性を検討して平成15年7月に久留米市有形文化財（建造物）に指定された。平成18年度から平成21年度までの4年間をかけて修理復原工事を行い、平成22年5月1日から一般公開をしている。生家では、年間を通じて様々な企画展や体験講座を開催しており、文化財の周知普及に努めている。

◆年間入場者目標：10,000名（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

◆開館日数：307日

<季節行事>

七夕まつり	<p>期間：平成28年7月7日（水）～8月7日（日）</p> <p>対象：一般 入場料：通常通り （短冊を飾りに来た場合は無料で、同伴の保護者も無料）</p> <p>内容：願い事を書いた短冊を笹竹に飾る。</p>	493名
ひなまつり	<p>日時：平成29年2月1日（土）～4月2日（日）</p> <p>対象：一般 入場料：通常通り</p> <p>内容：坂本家に伝わる雛人形を展示し、期間中に体験事業・生誕記念コンサート・お茶会を実施。</p>	1,000名 見込み

<お茶会>

お茶を楽しむ会	<p>日時：平成29年3月20日（月、祝）10時～15時</p> <p>主催：江戸千家久留米不白会 共催：文化財保護課</p> <p>対象：一般</p> <p>茶券：一般500円、中学生以下300円</p> <p>※入場料（団体料金）を含む。</p>	100名 見込み
---------	---	-------------

<ミニコンサート>

七夕ナイト	<p>日時：平成28年7月30日（土）19時～21時</p> <p>演者：代表 松本 久実子 氏（京泉会）</p> <p>対象：一般 入場料・参加費：無料</p> <p>内容：生家の庭を竹燈籠とペットボトルキャンドルで彩る。 19時30分から一時間程度、大正琴の演奏を行う。</p>	63名
生誕記念 コンサート	<p>日時：平成29年3月11日（土）14時～15時</p> <p>演者：未定</p> <p>対象：一般 入場料・参加費：無料</p>	60名 見込み

<体験事業>

茶レンジ！ こども茶会♪	<p>日時：平成28年6月26日（日）10時～12時</p> <p>講師：西村 宗尚 氏</p> <p>対象：小学生20人募集 入場料・参加費：無料</p> <p>内容：お茶の作法について先生から学ぶ。</p>	24名
-----------------	---	-----

流しそうめんを 食べよう♪	日時：平成 28 年 8 月 20 日（土）10 時～12 時 対象：小学生 40 人募集 入場料・参加費：無料 内容：青竹で箸と器を作って、地元住民と一緒に流しそうめんを 食べて楽しむ。	40 名
画伯に チャレンジ！	日時：平成 28 年 10 月 22 日（土）10 時～15 時 講師：宇美 拓哉 氏 対象：小学生 20 人募集 入場料・参加費：無料 内容：生家・庭の中からテーマを決めて絵を描く。	20 名 予定
餅つき大会♪	日時：平成 28 年 12 月 17（土）10 時～12 時 対象：小学生 30 人募集 入場料・参加費：無料 内容：地元住民とともに、餅つきをして、ついた餅を食べる。	30 名 予定
折り紙で雛人形 を作ろう♪	日時：平成 29 年 2 月 4 日（土）13 時 30 分～15 時 30 分 講師：関根 千鶴子 氏 対象：一般 15 名募集 入場料・参加費：無料 内容：折り紙で雛人形を作る。	15 名 予定

<落語>

素人落語寄席	日時：平成 29 年 1 月 21 日（土）13 時 30 分～15 時 30 分 対象：一般 入場料・参加費：無料 内容：久留米落語長屋のメンバーによる寄席	60 名 見込み
--------	---	-------------

(4) 歴史探訪

六ツ門図書館展示コーナーで開催される「大地に残る地震の爪あと」に合わせて市内の地震痕跡が残る遺跡等を巡るバスツアーを実施する。

・期日 平成 28 年 10 月 2 日（日） ・定員 40 人

(見学地) 水縄断層他

(費用) 参加費は無料 ※昼食は実費負担

2. 協働・支援活動

(1) 出前講座

市民向け講座として全庁的に取り組む「出前講座」では、文化財保護課は次の 2 メニューを受け持つ。

① 私のまちの歴史と文化財

②歴史を体験

(2) 実習受け入れ

受入期間：平成 28 年 8 月 16 日～26 日（うち 9 日間）

受入人数：久留米大学 2 名、筑紫女学園大学 1 名

受入施設：久留米市埋蔵文化財センター、久留米文化財収蔵館ほか

3. 刊行物

(1) 久留米市文化財調査報告書

第 370 集	『櫛原侍屋敷遺跡 - 第 20 次調査 - 』	平成 28 年 月
第 371 集	『庄島侍屋敷遺跡 - 第 10 次調査 - 』	平成 28 年 12 月
第 372 集	『久留米城下町遺跡 - 第 25 次調査 - 』	平成 28 年 12 月
第 373 集	『三反田遺跡 - 第 25 次調査 - 』	平成 28 年 12 月
第 374 集	『久留米城外郭遺跡 - 第 24 次調査 - 』	平成 29 年 1 月
第 375 集	『京隈侍屋敷遺跡 - 第 28 次調査 - 』	平成 29 年 2 月
第 376 集	『碓遺跡 - 第 5 次調査 - 』	平成 29 年 3 月
第 377 集	『白川遺跡 - 第 6 次調査 - 』	平成 29 年 3 月
第 378 集	『高三瀦遺跡 - 第 5 次調査 - 』	平成 29 年 3 月
	『久留米市文化財調査集報 17』	平成 29 年 3 月
	『平成 28 年度 筑後国府跡』	平成 29 年 3 月
	『平成 28 年度 久留米市内遺跡群』	平成 29 年 3 月
	『筑後国府跡－Ⅰ期（古宮）政庁－』	平成 29 年 3 月
	『有馬家大名墓所Ⅱ』	平成 29 年 3 月

以上を刊行する予定である。

(2) その他の刊行物

- ・歴史散歩 2 冊（内容は未定）
- ・文化財マップ「山川校区」
- ・収蔵館ニュース
- ・筑後国府通信

(3) 文化財説明板作成設置

久留米市内の指定文化財を中心に、文化財を解説する案内板を毎年、作成している。

本年度は「寺徳古墳」、「祇園山古墳」、「正福寺遺跡」、「隈山古墳群」に関する文化財説明板の説明板等を設置・修繕予定。

VII. 熊本地震による指定文化財等の被害状況

1. 被害状況

- ・ 総数 12 件 (平成 28 年 5 月 23 日現在)

	国指定	国登録	県指定	市指定	合計
被害確認件数	0	2	5	5	12
(参考) 指定文化財等件数	27	5	43	103	178

- ・ 指定文化財等の被害状況一覧

		指定区分	文化財名称	所在地	内 容
1	国登録	有形文化財 (建造物)	草野歴史資料館 (旧草野銀行本店)	草野町	・ 玄関の瓦が落下 ・ 壁にクラック
2		有形文化財 (建造物)	山辺道文化館 (旧中野病院診療棟)	草野町	・ 屋内壁にクラック
3	県指定	有形文化財 (建造物)	高良山御手洗橋	御井町	・ 欄干接合部のモルタル割れ
4		有形文化財 (建造物)	上野家住宅御成間	山本町	・ 床の間の内壁にクラック
5		有形文化財 (建造物)	久留米藩有馬家霊屋	京町 (梅林寺)	・ 瓊林院霊屋内宮殿の垂木及 び野地板一部脱落
6		有形文化財 (彫刻)	木造神子榮尊坐像	大善寺町 (朝日寺)	・ 左肩部分が破損
7		有形文化財 (考古資料)	法林寺宝篋印塔	城島町	・ 相輪部分が崩落
8	市指定	有形文化財 (建造物)	大善寺旧庫裡	大善寺町	・ 外壁漆喰にクラック ・ 内壁が剥落
9		有形文化財 (建造物)	城島天満宮の石造鳥居	城島町	・ 笠木の継ぎ目がずれている
10		有形文化財 (建造物)	石垣神社の石造鳥居	田主丸町	・ 笠木の端が下がっている
11		有形文化財 (建造物)	大善寺玉垂宮の石造鳥居	大善寺町	・ 柱の継ぎ目がずれている
12		有形文化財 (彫刻)	木造聖観音立像 木造不空縹索観音立像 木造十一面観音立像	大善寺町 (朝日寺)	・ 観音堂屋根瓦落下 ・ 壁破損 ・ 不空縹索観音立像台座破損

久留米市文化財専門委員会委員名簿(平成27年6月～平成29年5月)

部会	専門		氏名	所属
史跡	考古	会長	にしだに ただし 西谷 正	海の道むなかた館館長
	考古		きのした なおこ 木下 尚子	国立大学法人熊本大学文学部教授
	考古	○	よこやま くにつぐ 横山 邦繼	学識経験者(元福岡市職員)
	古代史		しげまつ としひこ 重松 敏彦	太宰府市総務部文書情報課
名勝 天然記念物	天然記念物 植物	○	はしかわ ひろみ 橋川 ひろみ	福岡県農林業総合試験場資源活用研究センター
	天然記念物 植物	副会長	なかみぞ なおみ 中溝 直美	荒木中学校教諭
	天然記念物 生物		たかやま よしこ 高山 美子	学識経験者(元北野町文化財専門委員)
	名勝庭園		ながまつ よしひろ 永松 義博	学校法人南九州学園 南九州大学園芸学部教授
有形文化財	歴史資料 古文書	○	なか の ひとし 中野 等	国立大学法人九州大学大学院教授
	美術工芸		もりやま ひでこ 森山 秀子	公益財団法人石橋財団 石橋美術館学芸課長
	絵画		こばやし のりこ 小林 法子	福岡県文化財保護審議会委員
	建造物		おおもり ようこ 大森 洋子	学校法人久留米工業大学工学部 建築・設備工学科教授
無形文化財 及び 民俗文化財	民俗		だんじょう たつお 段上 達雄	学校法人別府大学文学部教授
	無形染物		とりまる さだえ 鳥丸 貞恵	学識経験者(元大阪芸術大学通信教育部教授)
	民俗	○	えしま まさみつ 江島 政光	学識経験者
	民俗		みやざき しんじ 宮崎 伸二	福岡県文化財保護指導委員

○は部会長